

- 問1 安土桃山時代から江戸時代初期にかけてのキリスト教の動向について、1587年のバテレン追放令発令時（信者数約20万人）と、1601年の状況（信者数約30万人）を比較した記述として正しいものはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 豊臣秀吉による厳しい弾圧が即座に効果を発揮し、16世紀末には信者数は激減した
 2. バテレン追放令と同時に貿易も全面的に禁止されたため、キリスト教の影響力は消滅した
 3. バテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた
 4. 1601年の時点では、徳川家康による鎖国令が全国に徹底されていたため信者数は減少した
- 問2 1543年に種子島へ漂着して日本に鉄砲を伝えた人々は、現在のどの国に属していましたか。その国はヨーロッパのイベリア半島に位置し、東側でスペインと接し、西側は広く大西洋に面しているという地理的特徴があります。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. イタリア
 2. ポルトガル
 3. イギリス
 4. オランダ
- 問3 16世紀後半、日本では足利義昭が将軍に就任するなど戦国時代の動乱が続いていましたが、この時代に世界で展開されていた「大航海時代」を象徴する出来事として、スペインの支援を受けた船団が人類史上初めて成し遂げたことは何ですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
1. ワットによる蒸気機関の改良
 2. マゼランの船団による世界一周
 3. モンゴル帝国による領土の最大化
 4. ローマ帝国による地中海沿岸の統一
- 問4 1577年に織田信長が安土（滋賀県）に出した法令の中に、「安土の町を楽市とするので、座の特権を廃止し、諸々の税や労役を免除する」という内容がありました。信長がこのような政策を打ち出した背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）
1. 商工業者の独占を排除し、自由な商売を認めることで城下町を繁栄させる。
 2. 家臣たちの行動を厳しく制限するための独自の法律を作り、領国支配を固める。
 3. 特定の有力商人にのみ独占販売権を与え、その見返りに多額の税を納めさせる。
 4. 農村の土地の広さを正確に調査し、農民から安定して年貢を徴収する。
- 問5 16世紀、ヨーロッパとの交流によってもたらされた「南蛮文化」において、新たに日本へ伝えられた学問や技術の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. 仏教・文学・製紙術
 2. 国学・蘭学・測量術
 3. 儒学・薬学・建築術
 4. 天文学・医学・航海術
- 問6 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の日本の戦いの形を大きく変えることになりました。鉄砲の普及によって変化した当時の戦術の説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 接近戦を避けるため、水軍による海上からの攻撃のみが重視されるようになった。
 2. 防御力重視のため、堀や石垣を設けずに簡素な陣地での戦いが中心となった。
 3. 弓矢の重要性が高まり、鉄砲の音で敵を威嚇する心理戦が主流となった。
 4. 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。
- 問7 16世紀後半、織田信長や豊臣秀吉が活躍した時代に、戦国大名や豪商（大商人）の富や権力を背景として形成された、豪華で壮大な特色を持つ文化を何と呼ぶか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 東山文化
 2. 元禄文化
 3. 桃山文化
 4. 化政文化
- 問8 豊臣秀吉によってバテレン追放令が出された時期について、歴史的な出来事の前後関係として正しいものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 本能寺の変の後、朝鮮への出兵（文禄の役）の前
 2. 鉄砲伝来の後、キリスト教伝来の前
 3. 関ヶ原の戦いの後、江戸幕府の成立の前
 4. 島原・天草一揆の後、ポルトガル船来航禁止の前
- 問9 豊臣秀吉が全国を統一した時期の略年表において、政治的な動きと並行して「桃山文化」が成立したとされています。この時期に描かれた狩野永徳の作品などが、金箔をふんだんに使い、巨大で力強い表現を用いた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
1. 戦乱による物資不足を補うため、安価で手に入りやすい金色の染料を多用したため
 2. 鎖国によって海外との交流が断れたため、日本独自の控えめな美意識を追求したため
 3. 禅宗の影響を強く受け、質素で静かな「わび・さび」の精神を表現するため
 4. 天下人や大名の圧倒的な権力や富を、視覚的に周囲へ誇示するため
- 問10 大航海時代における探検家の活動について、ポルトガルの支援を受けインド航路を開拓した人物と、1492年にスペインの支援を受け西回りアジアを目指した人物の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. バスコ・ダ・ガマ —— コロンブス
 2. マルコ・ポーロ —— コロンブス
 3. マゼラン —— バスコ・ダ・ガマ
 4. コロンブス —— マゼラン
- 問11 豊臣秀吉が発令した法令において、「農民が刀・脇差・弓・槍・鉄砲その他の武器を持つことを厳しく禁止する」とした背景には、当時の社会状況に対するどのような懸念があったと考えられますか。法令の意図として最も適切なものを選びなさい。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 農民が自衛のために武器を持つことで、大名による地方支配が強化されすぎてしまうという懸念。
 2. 武器を所持し続けることが、年貢の未納や一揆の企てを誘発し、社会の混乱を招くという懸念。
 3. 全国的な測量である太閤検地を行う際に、農民が武器を持って抵抗し、石高の算定が遅れるという懸念。
 4. 海外から流入するキリスト教徒が農民に武器を与え、宗教的な反乱を全国で引き起こすという懸念。
- 問12 豊臣秀吉が1587年に発令した、宣教師の追放を命じる文書（バテレン追放令）の内容を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を厳しく禁止し、日本から海外への渡航や海外からの帰国を一切禁止する鎖国体制を確立した
 2. ポルトガルに代わって、キリスト教の布教を目的としないオランダとの貿易を長崎の出島で独占することを宣言した
 3. 大名がキリスト教徒になることを推奨し、南蛮貿易をさらに拡大させるために長崎を直轄領として整備した
 4. 日本を神国と位置づけ宣教師に退去を命じる一方で、ポルトガル商人の商売については従来通りの売買を認めた
- 問13 16世紀の日本における、新しい技術の導入と政治情勢の変化について述べた文として、背景や影響が正しく説明されているものはどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
1. 本能寺の変によって室町幕府の最後の将軍が追放されたことで、織田信長による朱印船貿易が本格化し、海外のキリスト教勢力が日本を支配した。
 2. ポルトガル人によって種子島に鉄砲が伝えられると、足軽による集団戦法が普及し、織田信長が室町幕府を滅ぼして天下統一を進める原動力となった。
 3. 鉄砲の伝来によって騎馬隊を中心とした戦術がより強化され、各地の守護大名が幕府を支える体制を再構築したことで応仁の乱が終結した。
 4. 戦国大名が遣唐使を派遣して最新の火器を輸入したことにより、京都の朝廷は権威を取り戻し、戦国時代は短期間で終わりを迎えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 バテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた	統計資料によれば、1587年のバテレン追放令から1601年にかけて、国内のキリシタンの数は約10万人増加しています。これは、追放令が貿易利益との兼ね合いで不徹底な運用に留まったことや、九州地方などを中心に信仰が深く根付いていたことが要因です。信者の減少や組織的な潜伏が本格化するの、江戸幕府による禁教令や鎖国体制の整備が進んでからのことです。
問2	答え 2 ポルトガル	1543年に種子島に鉄砲を伝えたのはポルトガル人です。ポルトガルはイベリア半島の西端に位置する海洋国家で、16世紀にはアジア各地に拠点を築き、日本とも貿易を開始しました。その後、1549年には同じくイベリア半島のスペインから派遣された宣教師ザビエルによってキリスト教が伝えられることとなります。
問3	答え 2 マゼランの船団による世界一周	16世紀前半、スペインの支援を受けたマゼラン（マガリャンイス）の船団は、西回りアジアを目指す航海に出発しました。マゼラン自身は途中のフィリピンで戦死しましたが、生き残った部下たちが1522年にスペインに帰還し、人類史上初の世界一周を達成しました。これは日本の室町幕府が滅亡に向かう時期と重なる、世界史上の大きな転換点です。
問4	答え 1 商工業者の独占を排除し、自由な商売を認めることで城下町を繁栄させる。	当時の商工業者は「座」を結成して販売を独占していましたが、これは新規参入を妨げ、町の発展を阻害する要因でもありました。信長はあえてこの既得権益を打ち破り、税の免除という優遇措置を与えることで、自由な経済活動を促進し、自分の本拠地である安土を経済の中心地にしようと考えました。
問5	答え 4 天文学・医学・航海術	大航海時代にヨーロッパから来航したポルトガル人やスペイン人との貿易（南蛮貿易）を通じて、キリスト教だけでなく実用的な科学技術が導入されました。特に、遠洋航海に不可欠な天文学や航海術、そして当時の最新の医学などは、それまでの日本にはなかった体系的な知識として大きな影響を与えました。
問6	答え 4 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。	鉄砲は強力な武器ですが、装填に時間がかかるという欠点がありました。これを補うために、織田信長が長篠の戦いで見せたように、多数の足軽を組織して交代で撃たせるなどの集団戦術が編み出されました。これにより、個人の武勇よりも組織力が勝敗を分ける時代へと移行しました。
問7	答え 3 桃山文化	この文化は、天下統一を目指した戦国大名の権力や、海外貿易などで富を蓄えた豪商の経済力を象徴しています。城郭建築や金箔を多用した障壁画に代表される、力強く華やかな気風が最大の特徴です。足利義政の時代の「わび・さび」を重んじる東山文化や、江戸時代の庶民を中心とした元禄文化とは対照的な性質を持っています。
問8	答え 1 本能寺の変の後、朝鮮への出兵（文禄の役）の前	バテレン追放令は1587年に出された。これは1582年の本能寺の変で織田信長が倒れて豊臣秀吉が実権を握った後であり、1590年の全国統一や1592年から始まる文禄の役（朝鮮出兵）よりも前の出来事である。その他の選択肢は、江戸時代初期や戦国時代初期の出来事であり、時期が異なる。
問9	答え 4 天下人や大名の圧倒的な権力や富を、視覚的に周囲へ誇示するため	桃山文化は、戦国時代を勝ち抜いた大名や、経済力をつけた豪商たちの活気を反映しています。狩野永徳による障壁画は、城を訪れる者に城主の威厳や権威を強く印象づけるための政治的な役割も果たしていました。これに対し、「わび・さび」は室町時代の東山文化の特徴であり、鎖国は江戸時代以降の政策です。
問10	答え 1 バスコ・ダ・ガマ ―― コロンブス	15世紀から16世紀にかけて、ポルトガルとスペインは激しく新航路の開拓を競いました。ポルトガルはアフリカ大陸を南下し、1498年にバスコ・ダ・ガマが喜望峯を経由してインドへ到達しました。これに対しスペインは、1492年にコロンブスの提案を採用して大西洋を横断させる航海を支援し、アメリカ大陸の発見へと繋げました。マゼランは後にスペインの支援で世界周航を成し遂げた人物です。
問11	答え 2 武器を所持し続けることが、年貢の未納や一揆の企てを誘発し、社会の混乱を招くという懸念。	秀吉が残した文書によれば、農民が不必要な武器を隠し持っていることは、領主への年貢の支払いを拒否したり、一揆を企てたりすることに直結すると考えられていました。このため、武器を強制的に没収することで農民の武装解除を行い、社会の安定と中央集権的な支配の確立を目指しました。
問12	答え 4 日本を神国と位置づけ宣教師に退去を命じる一方で、ポルトガル商人の商売については従来通りの売買を認めた	バテレン追放令の要約によれば、秀吉は日本が「神国」であることを強調してキリスト教を否定し、宣教師に対して20日以内に国外へ退去するよう命じました。その一方で、商売を目的に来航するポルトガル船については、これまで通り売買を行っても差し支えないという例外条項を設けています。これは秀吉が、宗教による支配の危険を避けつつも、経済的な実利を確保しようとした現実的な政策であったことを示しています。
問13	答え 2 ポルトガル人によって種子島に鉄砲が伝えられると、足軽による集団戦法が普及し、織田信長が室町幕府を滅ぼして天下統一を進める原動力となった。	1543年の鉄砲伝来は、それまでの騎馬武者による一騎打ちから、足軽による組織的な集団戦法へと戦い方を変え、強固な城郭の築城を促すなど社会に大きな影響を与えました。織田信長はこの新兵器を効果的に利用し、1573年に室町幕府を滅亡させ、全国統一を目前にしましたが、1582年に本能寺の変で家臣の明智光秀に倒されました。遣唐使は894年に廃止されており、鉄砲伝来の時代とは重なりません。